2022 年進捗報告（実行団体）

● 提出日　：　2022 年　　11 月　14 日
● 事業名　：　重症心身障害児・者と家族の学びの場の確保と生活の充実を図る事業
● 資金分配団体　：　公益財団法人お金をまわそう基金
● 実行団体　：　特定非営利活動法人 Lino

1　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
医療的ケア児を含む重症心身障害児・者とその家族向けに、沖縄海洋リハビリ体験ツアーを年 2 回開催する。	沖縄海洋リハビリツアーの開催回数と、参加者家族数	（目標達成時期までに）4 回実施、３～４家族が参加	2021 年 9 月	2022 年 4 月～2022 年 9 月末日までで沖縄海洋リハビリ体験ツアー実施は 1 回。（6 月実施は 5 組 11 名の参加）	2
医療的ケア児を含む重症心身障害児・者とその家族向けに、インクルシネマを毎月 1 回開催する	インクルシネマの開催回数と参加者数	（目標達成時期までに）15 回実施、1000 名程度が参加	2021 年 9 月	2022 年 4 月～2022 年 9 月末日までで６回実施し 423 名の参加があった。	2
医療的ケア児を含む重症心身障害児・者とその家族が旅行を楽しめる具体的なノウハウをブログで提示していく	月間の記事アップ回数と閲覧回数	目標①：月 2 回ブログアップ 目標②：2021 年 9 月までにブログの閲覧数 4,000/月を達成	2021 年 9 月	2022 年 4 月～2022 年 9 月末日までで 4 月は更新 1 回閲覧数 305、5 月は更新 1 回閲覧数 530、6 月は更新 2 回閲覧数 478、7 月は更新 1 回閲覧数 292、8 月は更新 1 回閲覧数 417、9 月は更新 2 回閲覧数 465、	3

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.（任意）活動に関する報告
インクルシネマについては、感染対策や方法を練りながら継続的に開催を行った。インクルシネマ実施後の参加ご家族アンケートでは「コロナ禍になり、外出を考えるようになりましたが、定期的に開催される映画が、我が家の毎月の大事な行事になりました。また、たくさんのお友達、お母さん方にも会える機会となり、楽しみです」との回答や本格的に導入するようになったカームダウンスペースについては、「ずっと座っていると体動が激しくなってくるので、カームダウンスペースを用意していただけたことで、映画の途中移動し、ゆったり気分転換できました」等の声が聞かれている。カームダウンスペースについてはまだ体験された方は少ないものの、スペースの有益性が聞かれる言葉も出ている事から、引き続きインクルシネマ参加者の中で対象者や希望者がいれば適宜声かけをし、体験してもらう機会を増やしていくことでより安心して映画を楽しむことが出来る環境を整えていく。また、スペースに配置しているクッションについても様々なタイプで検証を続け引き続き体験者の意見を集約していく。インクルシネマ後のアンケート結果からもインクルシネマはコロナ禍において安心して外出できる場の一つと捉えている方が多いことがわかった。また、当事者のみならずご家族の方々にとっても、社会や友人と繋がる貴重な機会となっており、コロナ禍において引き続き感染対策をおこないながら継続実施することはやはり重要であると考える。 また、今回、2022．6～2022．9 まで NPO 法人二枚目の名刺による社会人協業サポート PJ に参加させていただいた。サポート PJ によりインクルシネマに関わる部分についてはマニュアルの見直し及びチラシ作りを行った。マニュアル見直しでは、現在ボランティアの方に事前に配布している案内にイオンシネマ内の見取り図などを挿入し、よりわかりやすく見やすいものに変更することができた。また、当事者家族の参加はもちろん、サポートキッズの育成及び参加促進のために地域の小学校（特別支援学校を含む）及び近隣の病院（療育センター含む）などに配布するチラシ作成を行った。今後送付予定。活動内容全般にかかるものとしては、LINE にてオープンチャットの開設を行いイベント情報の周知や申し込みフォームの一括送信、アンケート収集を行えるようにした。オープンチャットについては周知度としてはまだ低いため、今後周知を広げていく工夫が必要である。

沖縄海洋リハビリツアーについては、今回はコロナの影響を大きく受けることなく実施することができた。参加頂いたご家族は合計５組で、初参加のご家族２組、２回目の参加だが、前回と異なり、今回は兄弟が増え赤ちゃん連れでの参加となったご家族が１組、残り２家族はリピーターであった。初参加家族の感想としては、「飛行機・海はサポートがなければ敬遠してしまうので、今回のような企画がなければ行っていないと思います」とのことであった。実際にお子様が成長され、身体が大きくなりお一人で旅行に連れていくこと自体を困難と感じてしまうことは支援中の様子からも把握することができた。また、参加ご家族に頂いたアンケートでは参加目的に「本人の学習意欲を高め、課題や目標を明確にするため」というものがあった。実際に参加後には、「特別な経験や初めてをたくさん経験でき、本人の自信に繋がった。日々の生活の中で、意欲的に訓練に取り組むようになった」と旅行を通して経験や自信をつけることが出来たと実感された方もいらっしゃった。障害をお持ちの方やそのご家族は日常生活の中でも制限を感じてしまったり皆が当たり前に体験できることを同じように経験することができないことも多いが、Lino ツアーにより、日常とは違った視点からお子様の様子を捉えたり、経験を積む中で個々だけでなく、家族全体が成長するきっかけにも繋がっていると考えられる。また、リピーターの方の中には１回目の体験を次に生かし、荷物の郵送や手配、パッキングや準備などの効率が上がっている方がいらっしゃった。他にも、事前の下調べを行い意欲的に行きたいところを提案してくださったり、任せきりではなく、自らも旅行を楽しむ工夫を自身でされていた当事者家族の姿に成長を感じることができた。また、今回のツアーではボランティアスタッフが家族で参加してくださる方が多く、障害の有無に関わらず子供達同士の交流もはかれるツアーとなった。今後は参加してくれた家族に対しても意識の変化を測れるようなアンケート内容を考え、収集していく。広報に関する点では、以前もご協力いただきましたフォトグラファーの方に写真撮影と SNS 含めた拡散をお願いできました。また、ツアー中に YouTube 配信もしていただき、Lino の認知度を高めるご協力をいただきました。しかし、広報全般については前回と同じく人手不足から思うようにブログアップなどはできていない状況です。

ホームページには月１のインクルシネマのタイミングで書くのに加えて海洋リハビリもアップしていく予定であったができておらず、閲覧数の伸びは思うように図れなかった。前回から開始している Instagram にインクルシネマ参加者の動画 UP も進んでいないので、今後は、Instagram から HP に来てもらえるような興味を惹くコンテンツでの内容かつ実施可能なものを再考する。

前回、今後は同年代の子供等同士の交流の機会を増やしていきたいと考え、Lino ツアー参加者にキッズ参加を増やすことは成功したので、今後も引き続き Lino ツアー、インクルシネマともに家族での参加を促し、交流を促進していくと同時にサポートキッズの育成についても計画をつめていくことする。

③　広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している　　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 2022．6　病気障害ラヂオ（仮）YouTube 出演 2.広報制作物等 2022．9 完成→・インクルシネマ参加促進のためのチラシ作成 ・賛助会員チラシ 3.報告書等 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） 2022．9　ハテナ！サロンにて勉強会講師

添付資料

活動の写真（画像データは１枚２MG 以下、3～4 枚程度）